

第20回 滋賀県流域治水推進審議会 議事録

1. 開催日時 令和8年3月10日(火) 10:00~12:00

2. 開催場所 滋賀県危機管理センター プレスセンターおよびWeb会議併用

3. 出席者

滋賀県流域治水推進審議会委員(50音順)

柏尾委員、金井委員、黒坂委員、小林委員、齊藤委員、佐山委員(会長)、瀧委員、中川委員、村上委員

事務局

土木交通部 流域政策局 流域治水政策室

※事務局からの依頼により出席

知事公室 防災危機管理局

琵琶湖環境部 琵琶湖保全再生課、森林政策課、森林保全課

健康医療福祉部 健康福祉政策課、医療福祉推進課、障害福祉課

子ども若者部 子ども若者政策・私学振興課、子育て支援課

農政水産部 耕地課

土木交通部 都市計画課、住宅課、建築課建築指導室

教育委員会事務局 保健体育課

4. 議事

- (1) 近江八幡市安土町下豊浦(弁天・芦刈・芦刈新町・北原)の浸水警戒区域の指定について(議第1号)【浸水警戒区域指定の妥当性確認(区域範囲、手続等)】
- (2) 避難困難者利用施設の建築条件の見直しについて(議第2号)【答申5対応】【対象施設の種類(入所限定)、リスク(1/200、浸水深1.0m以上)、支援策】
- (3) 地先の安全度マップ更新について(議第3号)【5年に1度の更新概要、指定済浸水警戒区域の取扱い(範囲、水位)】

5. 結果

- (1) 近江八幡市安土町下豊浦の浸水警戒区域の指定について、妥当であることが確認された。
- (2) 避難困難者利用施設の建築条件については、次の方向で検討を進めることとなった。
 - ・対象施設：特定都市河川浸水被害対策法の浸水被害防止区域の対象施設のうち、入所を伴う施設
 - ・対象範囲：1/200確率降雨で浸水深1.0m以上となる区域
 - ・現行条例の1/200確率降雨で浸水深3.0m以上はかさ上げ義務を残して、新たな建築条件を追加

- ・求める対応：居室が浸水しない高さまでの嵩上げを求めると浸水深 1.0m 未満の地区より安全な対応となる。嵩上げ高さの検討が必要。

※居室の表現でよいか要検討

- (3) 地先の安全度マップ更新に伴う指定浸水警戒区域の対応については、浸水深の変化要因を整理した上で、佐山会長、瀧委員と協議して対応方針を検討する。

今後の対応（案）

【議第2関係】

- ・条例改正に当たり、次の点を整理および検討する。
 - ・施設への許可条件（嵩上げの程度）は 0.5m 未満となる高さとする。
 - ・条文上の「居室」の定義は、特定都市河川法と同じ定義とする。
 - ・対象降雨等の設定に当たり、福祉部局等と協議する。
 - ・国の浸水速度の取扱を確認した上で、浸水速度を建築条件等を含めるか検討する。

【議第3関係】

- ・浸水深、浸水範囲の変化理由を整理した上で、佐山会長、瀧委員と協議して対応方針を検討する。

6. 主な質疑（意見対応表に記載した回答も記載）

【議第1関係】

- ・干拓地堤防の嵩上げへの補助要望に対し、どのように回答したのか。支援制度の改善も考えるべき。

【議第2関係】（答申5対応）

- ・国では時間 50～100mm の雨で 0.5m 以上を基本としているのに対し、1/200 確率降雨で 1m では不十分ではないか。
- ・国では浸水速度を踏まえた対応を検討されている。浸水速度も考慮すべき。
- ・浸水深 0.5m 以上だと施設数が多いから建築条件を課す対象としないというのは理由にならない。車いすの高さや人命被害の発生が 1m 以上など、根拠の整理が必要。
- ・浸水深 1m 以上で浸水しない建て方を求めた場合、どこまでの嵩上げを求めるのか。浸水深 99cm で無対策のケースと比較してバランスがとれないようなことは避ける必要がある。
- ・居室が浸水しないという表現になっているが、「居室」の範囲はどこまでか。寝室が浸水しなければよいのではないか。
- ・球磨川の千寿園の事例では、寝室が 2 階にあったが山側が危険だということで川側に移動して被災した。寝室だけを対象にすれば安全だとは限らない面もある。
- ・本日の議論を踏まえ、一旦は事務局案（外力：1/200 年確率、浸水深：1.0m）で検討を進め、必要に応じて見直すこととしたい。
- ・安全側の建築条件設定により、これらの用途の建物が建てられなくなることを懸念する。

今後、福祉部局等との調整が必要。

【議第3関係】

- 浸水深、浸水範囲の変化が、地形や河川改修による影響か、解析方法更新による影響か、県で概ねの比率を把握しておくことが重要。
- 基準水位見直しが想定水位±1m以上でよいかは、この場で議論するのではなく、技術的に検証し再検討したほうがよい。
- 基準水位見直しの基準は10cmでは見直しに時間を要しすぎるし、1mは大きすぎるような気がする。そこは検討課題とした上で、事務局案のとおり進めてもよいと考える。

以上